

コンテナクレーンの逸走対策・維持管理検討会（第1回）議事概要*

日時：平成25年7月2日（火）15時～17時

- 国土交通省におけるコンテナクレーンの逸走対策に関するこれまでの取り組み、過去のコンテナクレーンの逸走事件事例、今後の事故防止のための以下の課題を事務局から説明した。

- ・ 風観測・風予測情報の活用
- ・ 風況急変時にも対応できるような判断フローの見直し
- ・ レールブレーキやクレーンストッパ等の動摩擦力を発揮できる逸走防止装置の導入
- ・ 逸走防止装置の点検診断・維持管理手法の整理とガイドラインの作成

これに対して、委員の方々から、レールクランプの爪の摩耗を適切に点検することの重要性、クレーン設置地点周辺における風観測も活用しながら風予測を行い、この予測結果を活用したクレーンの運用等が指摘された。

- 以下に示す今後の検討項目について、承認された。

- ・ 逸走防止装置の性能の再整理。特にクレーンストッパの有効性を検証するための、実証実験の実施。
- ・ 風観測・風予測情報も活用しながら、風況の急変に対応できるような運用上の工夫について整理し、モデル運用規程内の判断フローの改善案を提示。
- ・ 逸走防止装置の点検診断項目と維持管理計画作成上の課題整理を行い、点検診断・維持管理計画作成ガイドラインを策定。

* 第1回開催時の名称は、「コンテナクレーンの逸走対策等検討会」であった。